

## 大崎町地域計画協議内容

地域名	横瀬地区	協議回数	第1回目
協議日	令和6年7月23日	場所	大丸農業構造改善センター
参加者	横瀬地区の担い手農家他 2名		
関係機関	大崎町（農林振興課・農業委員会）		
協 議 内 容			
<p>町の職員より地域計画の概要について説明。その後、地域の現状を説明し、地域における農業の将来の在り方などについて各課題の協議を行う。協議結果については公表資料のとおり。</p> <p>参加者より、横瀬地区の現状について、獣害が多いことや土地の性質として水はけの悪さ、地盤が沈み大型機械が入れないことがあるなど、地区特有の課題があり、新たな担い手の参入の阻害となっている旨の話があり、今後、農地の新たな活用（景観保全や観光等）について検討していく必要があるという意見が出た。</p> <p>次に地図を見ながら農地の利用状況について確認し、目標地図の作成を行う。横瀬地区においては14名の担い手農業者がいるが、そのうち3名が10年以内に離農を考えているとの意向調査結果がでている。</p> <p>今後空いてくる農地を今後は誰が作っていくかの協議を行うが、参加者より、現況では14名の担い手数となっているが、実際に農地を活用しているのは2名程しかおらず、今後益々利用されない農地が増えていくのではないかと話があった。土地の所有者の意向・次期耕作者の意向もあるため、本日来ているメンバーだけでは次の耕作者は決め難い。目標地図の耕作者が設定できない農地については一旦保留とし、今後、本地域で規模拡大を考えてる担い手農家等を中心に、目標地図を見ながら農地の新たな活用（景観保全や観光等）も踏まえて、耕作面積の拡大について検討する材料とするということとした。</p> <p>その後、本日の内容をホームページ等で公表する旨を説明し、協議を終了する。</p>			